

令和4・5年度 第13地区コミュニティ役員

役員紹介

Table with 4 columns: Position (e.g., 地区会長, 副会長), Name, and Office (e.g., 内水海, 北新町).

各委員会

Table with 4 columns: Committee Name (e.g., 広報委員会, 交通委員会), Members, and Office.

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。第十三地区内の皆様におかれましては、日頃より地区コミュニティ活動にご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



第十三地区コミュニティ 会長 五月女 光男

とねの絆

第18号 古河市第13地区 発行 令和4年10月31日 とねの絆 委員会 広報委員

敬老の日

功労感謝の会に代えて 紅白の饅頭の配布

敬老の日に因んで

砂井新田行政区 枝 昭寿

去る九月十九日、敬老の日お祝いおめでとうございます。行政区の皆さんには大変ご苦勞をおかけしお世話になりました。

高野老人クラブ活動報告

会長 羽部 喜代司

高野老人クラブではグラウンドゴルフの練習を年間を通して日曜日と水曜日に集落センターのグラウンドにて行っています。

赴任のあいさつ

水海小学校教頭 牧島 博樹

今年度、総和北中学校から水海小学校に転任してまいりました。よろしくお願ひいたします。

的に取り組んでまいりたいと思っております。子供たちの健やかな成長のために、地域の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

交通安全指導

交通委員長 稲葉 信也

ペタンク大会優勝者四名、グラウンドゴルフ優勝者一名が古河市老人クラブ連合会の代表として十月の茨城県の大会に参加します。



高野地区登校様子

全国の交通安全指導の期間に合わせて交通安全立哨活動を実施します。第十三地区コミュニティでは、継続的に地域貢献活動「交通安全立哨活動」を交通委員会と他協力の員で行っています。



釈迦西交差点



水海小学校入口交差点



前林交差点

水海小スポーツフェスティバル

六年 平田 未羽

私は、五月二十八日に水海小フェスティバルに参加しました。楽しかったことうれしかったことが一つずつあります。一つ目は、つな引きです。かけ声やつなの引き方で、白組が勝ちました。もう一つは、徒競走です。予行練習では不安だったけれど、練習を生かして一位をとることができました。最高学年として、最後の行事のとても楽しい思い出になりました。



開会式



1・2年生

スポーツフェスティバルのおもいで

一年 うえの ふみの

わたしは、だんすをがんばりました。だんすをまぢがえないでできたのしかったです。きつくあんすらいどのおどりをおどれてうれしかったです。



全体競走



5・6年生



体育委員会



徒競走



町水海行政区

行政区自治会親善ソフトボール大会にて

町水海 能城 忠雄

六月六日、渡良瀬河川敷野球場で行政区自治会親善ソフトボール大会が開催され、町水海自治会もエンジョイ部門に参加しました。試合では、ホームラン級のバッティングやジャンピングキャッチ等々、選手の活躍する姿も数多く見られました。健闘むなしく二試合とも敗退する結果になりました。

高野地蔵尊祭

高野地区 塩田 清七

今年も八月二十三、二十四の両日に地蔵尊祭が行われました。残念ながら、夏祭りの盆踊りや、子供会のお囃子、花火大会など夜の部は、今年も中止となりました。夜の部が中止のため、地蔵様へ参拝される方も、コロナ禍前より少なくなりました。当日はテレビ東京が撮影に来ていました。その様子が、先日九月十五日放映されました。視聴された方もいたことと思います。高野行政区の役員や係の方も取材に応じていました。お疲



羽部進監督からの「昔なじみのみんなとソフトボールを楽しむことができました。今年も三十四人も四人入り、戦力強化が図られました。先輩方も、まだまだ頑張っています。その上、行政区の役員の方々と家族からも大きな声で声援を受け、コロナ禍での鬱屈した気分から解放されたと思います。」という言葉が印象的でした。



町水海ソフトボールチーム



高野地区地蔵尊

れ様でした。今年も全国各地で、感染対策を考慮しながら、夏祭りなど各種行事が行われる所も出てきました。高野行政区も、また以前のように夏祭りが出来そうです。コロナ感染症の終息を願っています。



古河場所見学記

町水海行政区 能城 忠雄

三十一年ぶりに寄せ太鼓の音が古河に響きました。八月十一日、夏巡業大相撲「古河場所」が、イーエスはなもも体育館で開催されました。ぶつかり稽古、申し合わせ稽古から序二段と三段目の対戦が行われ、本市出身の三段目の菅原の活躍が見られました。郷土出身力士の頑張りに元気をいただきました。檜太鼓の打ち分けを経て行われた、綱締め実演、幕内力士・横綱の土俵入りは圧巻でした。テレビでお馴染みの関取が目の前で土俵に上がり、四股を踏む姿に観客から大きな拍手の応援が送られていました。その後、十両、幕内力士の対戦が行われました。上手投げ、下手投げ、寄り切り、押し出し等々迫力十分な取り組みに一段と大きな拍手が送られました。最員の関取のタオルを振って応援する観客も多数見られ、古河



大相撲 古河場所

福祉と老人会

内水海老人会長 市村 昭夫

先般八月、古河市老連と総和老連の各役員会、理事会に於いて市の高齢介護課より説明がありました。老連の事業活動には福祉課の職員二名、専任として支援をされております。説明内容の一部に、老人福祉センター「せせらぎの里」が令和五年度末で廃止になるという案件が示されて総和老連としては、代替案も無く絶対反対の態度を示して置きました。楽しみであった月一回の交歓会も出来なくなる事で、単位老人クラブとしては、活動範囲の構築を迫られると感じたのは私だけでしょうか。

編集後記

九月末に県では、新型コロナウイルス感染症拡大、第七波は「収束つつある」という。外出自粛などの行動制限の目安を定めた対策を廃止すると表明、今後は、オミクロン株対策ワケチン接種加速に向け、十一月に大規模接種会場を開設する考えを示した。

「インフルエンザ並み」という・重症化率だけを見れば、昨年の夏(一、三倍)・第五波(一、〇一倍)・第六波(〇、二二倍)・第七波(〇、一三倍)と低くなっている。県や古河市にも多くの事業・活動の制約や禁止が出されています。コロナ感染症の予防対策をし、各種大会が行われています。今年度は「とねの絆」十八号、十九号を発行します。コロナ禍原稿の収集が大変ですので、皆さんのご協力をお願いします。九月三日現在、古河市の感染者数(一六八、八〇名)。二月感染者数の(五、一倍) 広報委員長 梁河 紀栄